

日時 平成26年3月9日(日) 13:30~15:30
 場所 川西市役所 2階 202 会議室
 出席者 21名 (A班5名、B班6名、C班6名、D班4名)

中央公園のワークショップにご理解とご協力をいただき、有難うございます。

第3回ワークショップでは、「中央公園のかたちを固めよう!」をテーマに、4つの班にわかれ、様々な意見を出しました。そのワークショップの様子をまとめましたので、ご覧ください。また、今回は中京大学総合政策学部の佐道明広教授と5名の学生が参加され、中央公園のことを一緒に考えました。

当日の流れ

前回の振り返り



川西市より開会のあいさつがあり、その後、前回のワークショップのおさらいを行いました。意見では「イベントにも対応できる芝生広場」、「木の多いゾーン(森、里山、サクラ)のエリア」、「こどもの遊び場(プレーパーク、遊具のある広場)」が、各班共通の意見となっていました。その中で、コミュニティ花壇や緑の配置については、さらに内容を検討していく必要があることを確認しました。

公園計画図の説明

検討用平面図案

*検討用平面図案①



- 公園の外周や住宅地寄りの樹木は大きくならない樹種を配置
- 経路とエントランスの中心へ配置
- 楽しいでも移動しやすい幹線園路の設置
- 芝生広場は、第2回ワークショップのA、C、D(一部)の意見より決定
- 遊びのエリアと桜(ソメイヨシノ)の雑木林エリアを西側へ配置
- コミュニティ花壇のエリアを南側近くへ配置

前回までのワークショップの意見を参考に分類された2つの計画案について事務局より説明がありました。計画の2案の共通点は、「公園の外周や住宅地寄りの樹木は大きくならない樹種を配置する」、「景観と防災に寄与する大きな芝生広場を設ける」、「車イスでも移動しやすい幹線園路を設置する」です。

前回のワークショップで様々な意見となっていた広場の形状や雑木林の場所、サクラや花壇の配置などについて、それぞれの良いところや考えるべき事項について説明がありました。

意見交換・発表



説明の後に、グループに分かれて意見交換を行いました。ここでは、中央公園の平面案を見比べながら、各案の「良いところ」や「課題」について、それぞれ意見を出し合いました。

各班共に、活発な意見がだされ公園のイメージがまとめられました。その後、それぞれの班の代表の方に、自分たちが話し合った内容について説明をいただきました。

これまでの3回のワークショップを通して、公園のイメージが徐々に固まってきているところを皆さんと共有しました。



各班の中央公園に対する主な意見・全体発表の様子

A班

- 【整備方針】多くの市民が集まり、四季を通して憩う公園
- 【広場の形状】広く多目的に利用できる案が望ましい。
- 【植栽】芝生広場に樹木がないスペースが広すぎると暑い夏の日には誰も利用しない。/サクラ、フジ、モミジなど四季折々に楽しめる植栽。
- 【プレイエリア】案は、開放制が高く安全で利用しやすい位置である。
- 【出会うの広場】モニュメントは、市民の誰からも愛着を持たれる意味合いが必要。この地域にもともとあった煙突の活用は、ふさわしくないのではないか。/避難支援車両の進入に配慮し、舗装は必要である。
- 【せせらぎ遊歩道】水車の位置はゾーンとの関係を再整理する必要がある。
- 【その他】芝生広場のステージの位置は北側に配置する案も良い。



B班

- 【公園全体】防災上使える避難場所であることが前提である。/多くの世代が楽しめる公園としたい。/施設の配置は使い方を考えるべき。
- 【広場の形状】防災機能も必要だが、通常利用がしやすい配置が良い。
- 【植栽】四季を感じることでできる花木がよい。/川西付近に生息している樹木がよい。/花壇は病院側に設けることで、患者さんも楽しむことができる。/サクラは散策路付近などに分散して植栽したほうが良い。/あまり樹木を増やすと、避難がしにくくなるのではないかと。
- 【プレイエリア】幼児用に遊具を配置したエリアを別途設けてほしい。
- 【その他】最初は施設の少ないシンプルな公園でよい。みんなで考えてプラスしていけばよい。/周遊できる園路があると散策が楽しめる。/エントランス広場と北側園路を結ぶ園路も計画してほしい。



C班

- 【広場の形状】広場のステージの位置は、せせらぎ遊歩道に近い案の方がよい。/管理を考えると、芝生の範囲は大きすぎない方がよい。
- 【植栽】サクラは、歩きながら楽しめる方がよい。/管理面を考えると、本数は少なくても良い。/戸建住宅予定地の前に雑木林がある方がよい。
- 【プレイエリア】せせらぎ遊歩道に近い配置が良い。/遊具は少なめにし、地形を利用して遊べる場所にする。/土の掘れる場所がほしい。/小学生アンケート結果を考慮し、すべり台などを設置してあげたい。
- 【花壇】花壇は毎日管理が必要であり、自宅から離れた公園では難しい。/園芸療法を取り入れる場合は、病院へも協力を得る方法も考えられる。
- 【その他】モニュメントは、火打処理場の煙突ではない物を考えるべき。



D班

- 【公園全体】イベントや防災の視点だけではなく、集客を考え、使い勝手の良い公園にする。/来ると癒される公園となってほしい。
- 【広場の形状】広場を区分すると子どもの遊びのすみ分けがしやすい。
- 【植栽】クスノキは根上りがしやすいため、用いない方がよい。
- 【プレイエリア】様々な体験できるよう、でこぼこがあったり、土が掘れる場所などが必要である。/遊具は木のすべり台などプレーリーダーのいない日でも最低限遊べるものを配置する。/プレーパーク内にせせらぎ遊歩道の水を引き込み、泥遊びなどができるようにする。
- 【せせらぎ遊歩道】せせらぎ遊歩道と公園の地面の高さを同じにして一体的にする。/水遊びをする子どもの年齢差を考慮した方がよい。
- 【花壇】花壇は必要であるが、管理が大変なので、できる範囲で行う。
- 【その他】様々な人が利用できるように、芝生広場の利用ルールを決める。



各班写真...上段：発表の様子、下段：話し合いの様子

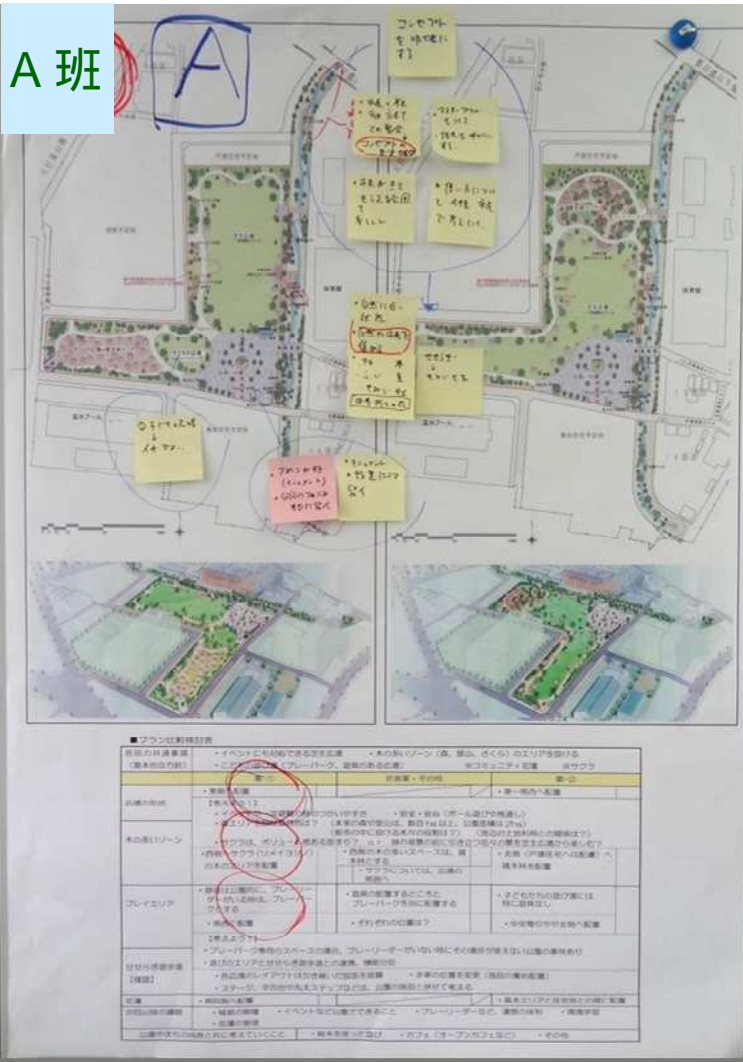
ワークショップの成果



議題

- ・前回までのワークショップでの意見を参考に作成された検討用平面図案をもとに、それぞれの考え方について、「中央公園にふさわしい施設配置」について意見交換を行いました。その時の主な議題は以下の通りです。
- 広場の形状について（東側へ配置 or 東～南西へ配置）
- 木の多いゾーンについて（西側へサクラ or 雑木林を配置、北側へ雑木林を配置など）
- プレイエリアについて（南西へ配置 or 中央寄りやや北側へ配置、遊具の設置など）
- せせらぎ遊歩道について（水車の位置など）
- その他意見のあった施設や機能について（花壇の配置や管理など）

A 班



B 班



C 班



D 班

